



### 株主の皆様へ

平素より格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は2024年3月31日をもって第144期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)を終了いたしましたのでその営業の概況をご報告申し上げます。

2024年6月



代表取締役社長

狩野 聖太郎

## 第144期 報告書

2023年4月1日 ▶ 2024年3月31日

当事業年度におけるわが国経済は、2023年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法における分類が5類に移行後、企業収益の改善、個人消費の回復が見られるものの、原材料、エネルギー価格の上昇に伴う物価上昇、また、円安の進行による経済環境への影響、雇用環境の変化などが加わり、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような厳しい状況の中、当社は原価低減に取り組む一方、受注に繋げる設計織込み活動、工期短縮に資するプレキャスト化の提案に、CIM(3D空間モデル、3Dプリンターモデル等のデジタル技術)を活用するなどの取り組みを、販売・設計部門が一体となって積極的に行いました。

こうして取り組んだ結果、当事業年度は、売上高は70億7千1百万円と前期比7.4%の増収となり、損益面では、営業利益は4億1千2百万円と前期比19.3%の増益、経常利益は4億6千7百万円と前期比8.5%の増益となりました。

これに特別利益として投資有価証券売却益4千1百万円、特別損失として固定資産除却損8百万円を計上し、税金費用等1億6千2百万円を差し引きした結果、当期純利益は3億3千7百万円と前期比8.4%の増益となりました。

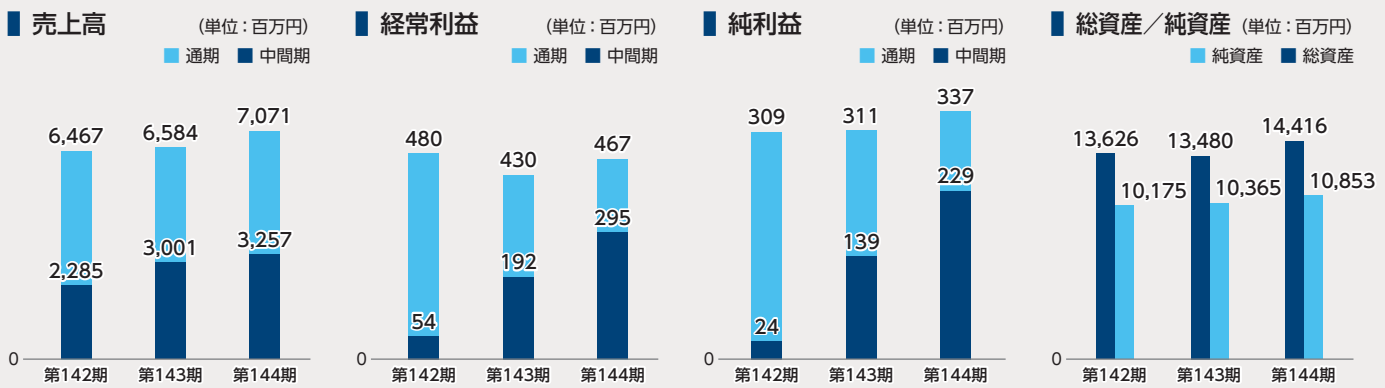
### 今後の見通し

当社は、おかげさまで2023年11月14日に創立100周年を迎えました。

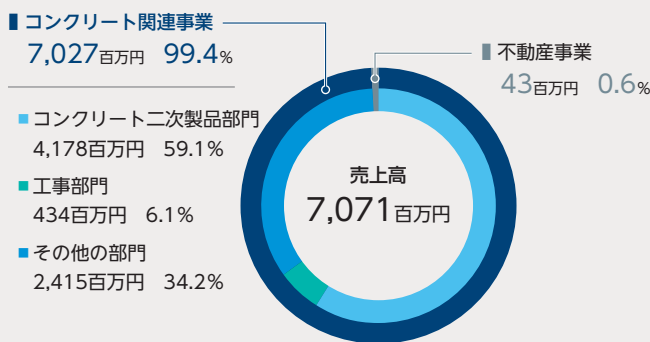
2024年度の日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が収まり、企業の生産活動、個人消費の持ち直し、インバウンド需要の増加により社会経済活動は回復が期待されますが、国際情勢によるエネルギー、資源価格の更なる上昇など、先行きの不透明感が続く状況にあります。

こうした中、当社は、販売・設計・生産の各部門が一体となり、受注獲得、品質及び原価管理の徹底に取り組む、収益向上に努めて、お客様の声に迅速かつ的確にお応えできる体制を構築してまいります。

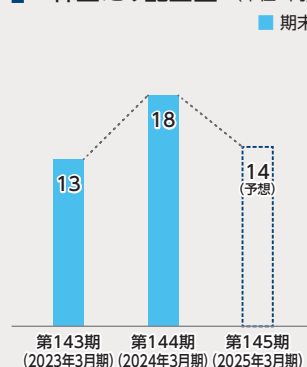
株主の皆様には、今後とも当社にご支援とご指導を心よりお願いする次第であります。



### 部門別の内容



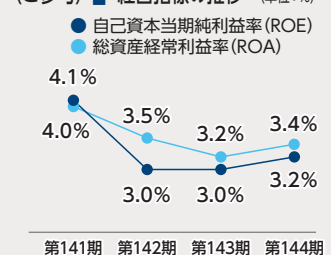
### 1株当たり配当金



### 売上高経常利益率

中期経営計画 (23.4~28.3)  
初年度目標 6.7% 実績6.6%

### (ご参考) 経営指標の推移



2023年11月14日をもちまして創立100周年を迎えました。株主の皆様へ感謝の意を表すため、2024年3月期の期末配当において1株当たり5円の記念配当を実施し、2024年3月期の期末配当は、普通配当13円、創立100周年記念配当5円の合計18円となります。

